

令和6年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和 年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	①生徒が自ら学び自ら考える姿勢を育成するために基礎学力を充実させ確かな学力の定着を図る。 ②学科併置の特色を活かした学びの楽しさを実感する学習活動の一層の展開を目指す。	①基礎学力を定着させる学習内容の精選、方法の確立をめざす。 ②学科併置の特色を活かしたハイブリッドなカリキュラムの構成を目指す。	①基礎学力を定着させる学習内容の精選を目指した教材研究を進める。 ②学科併置の特色を活かした教育活動を教科・領域にわたって展開することを目指す。	①生徒による授業評価で生徒が各観点でどのように評価したのか。 ②学科併置の特色を活かした教育活動が教科・領域において展開できたか。					
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	①社会生活で必要となる社会的資質や行動力を高めることができるよう指導と援助を行う。 ②幅広い教育活動の機会を活用し、企画・運営に関わることを通して主体性や課題解決能力、またコミュニケーション能力及び自己有用感の育成を図る。	①問題行動未然防止と適切な集団指導と個別指導の充実、規範意識の醸成を図る。 ②生徒が積極的に行事の企画・運営などに関わることを通して、主体性、課題解決能力、コミュニケーション能力及び自己有用感を向上させる。	①問題行動未然防止と問題行動発生時の対応、規範意識の醸成を図る。 ②生徒が主体的に行事の企画や準備、運営に携わる機会を増やせるよう指導・支援体制を構築する。	①ホームルームや集会等の声掛けや、問題行動発生時に個に応じた指導の充実を図る。 ②行事への参加を通じた主体性、企画力、行動力、充実感、自己有用感の向上を、アンケートなどで確認できたか。					
3	進路指導・支援	①高校3年間の生活を通して、自分の特性を理解し自分を活かす進路に生徒自らが積極的に行動できるよう適性検査やキャリアパスポートを利用しながら、進路指導の充実を図る。また、高校卒業後の未来の自分をイメージして社会や仕事に対する視野を広げ、第一志望の進路実現を目指すようにする。	①各年次で実施している進路に関する行事等について、3年間を通したプログラム構成の構築の充実と高い完成度が図れるように計画及び実施する。	①進路支援グループが主体的に実施する行事等について、各プログラム終了後に教員や生徒向けのアンケートを実施し、内容の充実に向け検討する。	①進路プログラム終了後のアンケート結果に基づき、内容の評価を行うことができたか。また、次年度の実施に向けての判断ができたか。					

	視点	4年間の目標 (令和 年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
4	地域等との協働	①地域とのかかわりを持ちながら積極的に貢献活動を行い、HP 等での情報発信を充実させ、生徒の活動の場を広げる。 ②地域産業等と連携した教育活動の充実を図る。	①HP 等を活用した情報発信を通して、本校の活動を広くアピールする。 ②地域産業等と連携した教育活動を活発に実施していく。	①学校のInstagram等を活用し、より広い範囲に生徒の活動などの情報発信を行う。 ②地域産業や企業と連携し「産農人」等の活動を充実させる。	①地域との交流や学校生活等の情報発信を充実することができたか。 ②地域産業や企業と連携した活動が実施できたか。					
5	学校管理 学校運営	①両キャンパスの環境や防災体制を整備し、生徒・教職員・学校利用者が健やかに活動できる安全安心な学校づくりをすすめる。 ②教職員のワークライフバランスを充実させ、心身ともに健康で、心にゆとりを持てるような働き方の改革をすすめる。	①多様な状況を想定した避難訓練を通し、両学科の防災に対する体制を確立する。 ②働きやすい環境づくり・業務の効率化を進め、教職員の在校時間を縮減し、心身ともに健康で安全・安心な働き方を追求する。	①三浦市と連携して、より実践的な避難訓練を実施し、生徒・教職員の防災体制の理解と防災意識の向上を図る。 ②負担軽減のための業務の精選、分担見直しを積極的に行う。月2回の定時退勤日を実施する。	①三浦市と連携して、避難訓練を実践できたか。教職員・生徒の防災体制の理解と防災意識が向上したか。 ②長時間勤務の職員が少なくなったか。職員の健康状態が向上したか。					